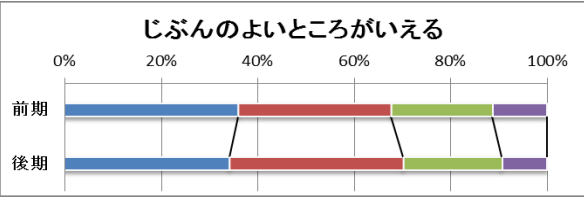
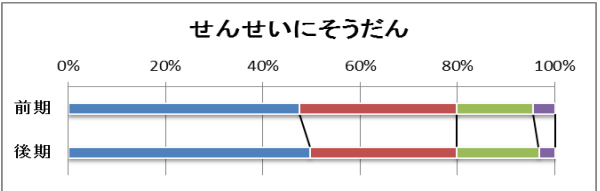
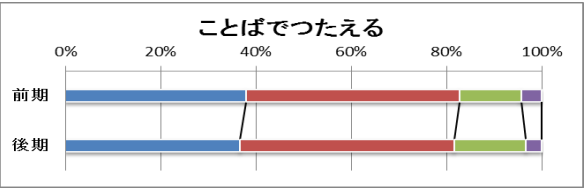
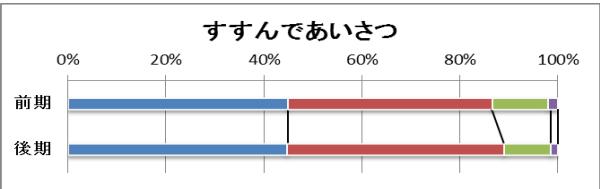
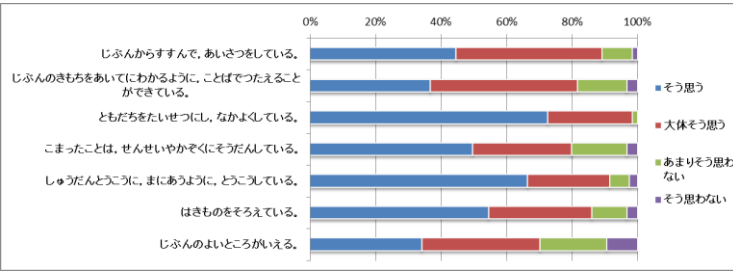


～学校評価アンケートの結果から～

先日は、今年度最後の参観・懇談そして造形展に多数ご参加いただき有り難うございました。クラスがまとまり、落ち着いて仲良く学習している子どもたちの姿、それぞれに思いの詰まったその子らしい作品などに子どもたちの成長を感じ、とてもうれしく思いました。造形展について2月22日に行った学校運営協議会でも、「学年ごとに成長が見られる」「子どもたちの個性が表れてよかった」とお褒めの言葉をいただきました。

さて今回は、1年間のまとめとして、学校評価アンケートの結果から見えることをお伝えし、今後めざす方向について考えたいと思います。

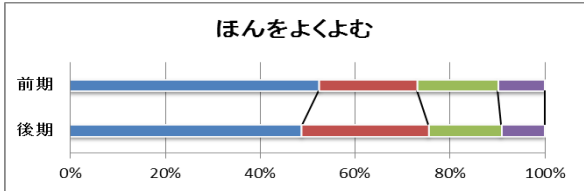
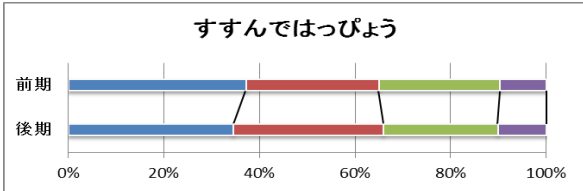
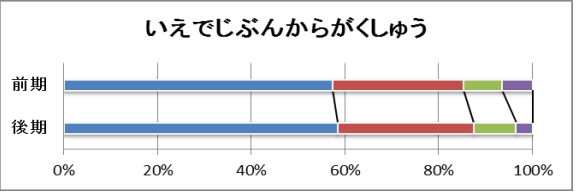
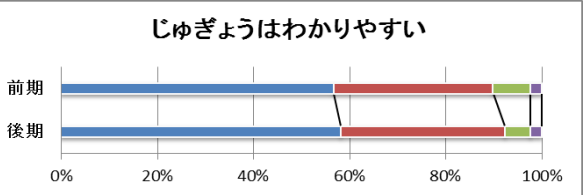
【生活面】 児童アンケートの7つの項目のグラフを見比べると、前回同様「友だちを大切に」という項目や「集団登校に間に合う」という項目に比べ、「あいさつをする」や「言葉で伝える」「自分のよいところと言える」「先生や家族に相談」などについて自信をもって「できている（そう思う）」と答えている児童が少ないことが分かります。では、前期の結果と比べるとどうでしょう。



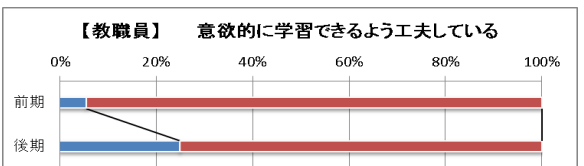
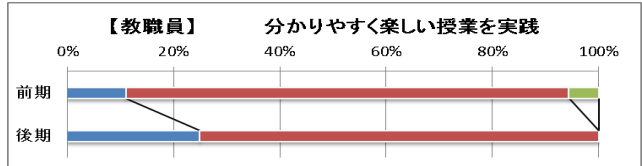
「あいさつする」「先生や家族に相談する」「自分のよいところと言える」ことについては、前期に比べて、肯定的（そう思う・大体そう思う）に答えている児童が増えています。自分がそう思えることが一番大切だと思っていますので、この結果はとてもうれしいことです。保護者の皆様・教職員の働きかけの成果であると思ってよいのではないのでしょうか。次年度もさらに意図的に働きかけ、自信をもって「そう思う」と答えられるようになってほしいと思っています。

一方で「自分の気持ちを相手に分かるように言葉で伝えること」については、課題が残ります。「そう思わない」と否定的に答える児童は減っているものの、肯定的に答える児童も減少しています。この項目は、本校の子どもたちにとって大きな課題であると言えます。言葉で伝えるということは、主体的に学習する際にも社会で生きていくためにも基本となる力です。さらに積極的な働きかけが必要だと考えます。今後は、授業の中に意図的に話し合う活動を取り入れるなど、自分の思いを表現する場面を多くつくっていききたいと思っています。

【学習面】 児童アンケートの学習面について見てみましょう。

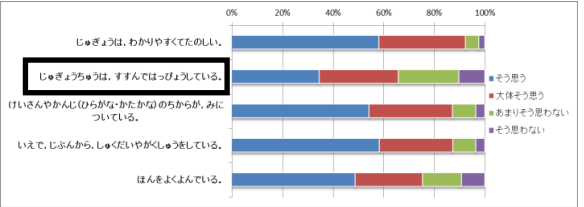


「授業がわかりやすく楽しい」「家庭学習」「進んで発表」「読書週間」について肯定的（そう思う・大体そう思う）に答えている児童が増えています。自己評価ではありますが、よい傾向であると思います。教職員のアンケートの回答を見ても、



となっており、やはり意識して取り組んでいる教員が増えています。私たち教職員はさらに、子どもたち一人一人に届く授業の在り方やそれを支える学校の組織作りに努めて参りたいと思います。

一方で、後期も前期に引き続き、授業が分かりやすいと答えている児童に比べて「進んで発表している」と肯定的に答えている児童が少ないことが気になります。生活面での「言葉で伝える」ことと合わせ、本校の子どもたちの課題として意図的に取り組むことが必要です。学校では、できるだけ一人一人が自分の意見をもち発表できる場を設定するなど、さらに工夫していきたいと思っています。また、学習面では、ジョイントプログラムや学力定着テスト（研究会版）の結果を基に、授業改善を図っていききたいと思っています。



【学校運営協議会】 先日の学校運営協議会では、アンケート結果も見ただきながら学校の様子や取組について話し合いました。その中で次のようなご意見をいただきました。

- ・ 中1の「ファインスパーク」の学習(生き方探究館)では、学習態度を褒められた。小学校からの積み上げである。
 - ・ 地域のいろいろな行事に子どもたちが参加してくれることが大変うれしい。助かっている。
 - ・ 伏見南浜の地域の子どもたちは大変優しい。あまり喧嘩をしているのを見たことがない。
 - ・ 地域での子どもたちの様子が年々よくなってきている。集団登校もうまくいくようになった。
 - ・ あいさつでは、「おはよう」だけでなく、「ただいま」の言える子どもも増えている。
 - ・ あいさつの定着には、繰り返し繰り返し声をかけていくことが大切である。
 - ・ 交通事故もほとんどなかった。地域の方やイエローフラッグの見守りのお陰であり、有り難い。
 - ・ 一方で、自転車の乗り方には問題がある。しっかり指導する必要がある。
 - ・ 子どもの生活がテレビやゲームばかりでなく、家族の団らんや読書などに向くよう、「テレビを消す」「読み聞かせをする」などの働きかけを小さなうちに習慣づけておくことが大切である。
 - ・ アンケート集計の際に学年ごとの結果を出すともた新たなことが見えるのではないかと。
 - ・ 以前に学校運営協議会で、学校のガラスを美しくすることに取り組んだことがある。
- 卒業式前に取り組んではどうか。

以上、学校評価アンケート結果から見えることや学校運営協議会で評価いただいた内容について書かせていただきました。今後取り組むべき課題はありながらも、子どもたちがすすくと成長していると評価していただき、大変うれしく思っています。また、ご意見やお気づきのことがございましたら是非学校にお知らせください。いただいたご意見は今後の取組に生かしていきたいと思っています。

1年間本校の教育活動にご理解・ご協力いただきまして本当にありがとうございました。今後も、学校・保護者の皆様・地域の皆様で力を合わせて子どもたちを育てて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

校長 山崎 弥生